

園芸市場情報

令和4年1月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部流通販売課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

1月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年並、相場は前年を下回るか！

果実類は、入荷量は前年並、相場は前年を上回るか！

花きは、入荷量は前年を上回り、相場も前年を上回るか！

<今月の写真>

* 明日待たるるその宝船 * (今年も市場の一年が始まりました)

令和4年1月5日、今年の初セリが行われ、一年のスタートが切られました。

7時30分から、恒例の宝船6艘(大2、小4)のセリが行われ、大きい船が50万円、小さい船が15万円という価格でした。

昨年の1月から11月までの都中央における千葉県産の販売状況を振り返ってみると、野菜は、入荷量、価格、取扱額ともに平年(H27-R2)を下回る厳しい1年でした。果実については、入荷量は平年をかなり下回ったものの、価格、取扱額ともに平年を上回り、まああの1年でした。切花については、単価は平年を上回ったものの、入荷量が大幅に下回ったことから、取扱額も平年を下回り、野菜と同様、厳しい1年でした。

年明けから、新型コロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、心配ではありますが、ワクチン接種も進んできましたので、感染防止に努めながらではありますが、飲食やイベントの機会が増えることが期待されます。今年一年が良い年となりますよう、千葉県産農産物を御愛顧ください。



場内に並べられた宝船6艘
(少し見にくいかもしれませんが、左奥に小船がもう1艘あります)

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1 頁
1 2月（中旬まで）の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
1月の見通し	
今月の青果物 特集「レタス類」	
II 花き（切花）情報	6 頁
1 2月（中旬まで）の経過（販売経過、品目別経過）	
1月の見通し（ストック、カラー）	
1 1月の入荷量と単価の経過 <確定値>	
III 千葉県内市場における園芸品の市況概況	7 頁
1 1月の青果物と花き	
IV やっちゃんば閑話	8 頁
「DX」	
V 首都圏掲示板	9 頁

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ± 2% 以内
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ± 3~5%
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ± 6~15%
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 11月下旬～12月中旬までの経過

気象	<p>11月5半旬は発達した低気圧により各地で荒天となり、その後は冬型の気圧配置となり、季節が一気に前進した。12月初めは低気圧から伸びる前線が通過し、まとまった雨をもたらした。12月4半旬には再び強い寒気が流れ込み、冷え込みが強まった。</p> <p>気温は、北海道や東北北部で平年よりも高く、四国や九州地方で低い傾向であった。</p> <p>降水量は、12月に入り近畿以東では多く、近畿より西側では少ない傾向であった。</p> <p>日照時間は、北海道北部や関東以西の太平洋側で多い傾向であった。</p>
----	--

野菜類

入荷量	<p>重量野菜は潤沢な入荷が続いたが、「だいこん」は産地による出荷調整と降雨の影響等により入荷量が抑えられた。「ねぎ」は東北産地から関東産地に切り替わっていったが、太物比率が多めの入荷となった。「レタス類」は冷え込みや他品目の農作業等から、入荷量は前年をかなり下回った。</p> <p>野菜全体では、11月下旬から12月中旬の入荷量は118,923t（前年比95.9%）と前年をやや下回った。</p>
相場	<p>「だいこん」「キャベツ類」などの重量野菜は安値だった前年並の価格となった。「トマト」は熊本県産の入荷の回復とともに、高値反動から価格を下げた。「レタス類」はクリスマスに向けて引き合いが強まったものの、主産地からの出荷が伸びず上げ基調となった。</p> <p>野菜全体では、11月下旬から12月中旬の価格は219円/kg（前年比115.2%）と前年をかなり上回った。</p>

果実類

入荷量	<p>「みかん類」「りんご類」「かき類」を中心に入荷した。</p> <p>「みかん類」は順調な生育で12月中旬から「早生みかん」から「普通みかん」中心となり、入荷量は前年並となった。「りんご類」は春先の凍霜害の影響が大きく、前年を大幅に下回った。「かき類」も春先の凍害の影響により、前年をかなり下回った。</p> <p>果実全体では、11月下旬から12月中旬の入荷量は43,470t（前年比95.1%）と前年をやや下回った。</p>
相場	<p>「みかん類」は前年並、「かき類」は品薄感から前年をかなり上回り、「りんご類」も数量少なく前年を大幅に上回った。</p> <p>果実全体では、11月下旬から12月中旬の価格は430円/kg（前年比107.6%）と前年をかなり上回った。</p>

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2021年11月下旬～12月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年21日・前年21日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	39,246	94.5	209	111.0	38,509	92.8	221	120.0	41,188	100.4	227	114.3	118,923	95.9	219	115.2
うち外国産	656	99.4	337	103.5	847	117.3	298	100.4	884	109.1	312	112.0	2,386	108.9	314	105.1
果実総量	13,612	93.2	389	108.6	14,607	92.1	419	108.3	15,252	100.2	477	105.4	43,470	95.1	430	107.6
うち外国産	1,183	101.4	178	90.4	1,237	96.6	179	107.0	1,279	111.7	171	101.3	3,699	103.0	176	99.2

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	3,605	95.7	44	100.9	3,299	95.5	46	101.0	3,297	97.4	52	103.8	10,201	96.2	47	102.0
にんじん	2,545	96.4	94	74.2	2,816	95.7	88	82.0	2,756	96.6	97	90.9	8,117	96.2	93	82.1
はくさい	5,251	107.1	34	118.7	4,618	86.8	36	148.3	5,033	97.1	32	118.8	14,901	96.7	34	127.8
キャベツ類	5,016	102.2	56	107.6	4,607	99.9	54	111.0	4,817	113.1	50	86.6	14,440	104.8	54	101.3
ほうれんそう	538	81.7	366	122.5	462	83.3	455	144.6	507	93.6	423	109.9	1,506	85.9	412	124.8
ねぎ	1,693	100.1	226	85.6	1,730	100.1	239	81.4	1,806	101.8	234	80.4	5,229	100.7	233	82.3
レタス類	2,194	88.1	127	131.6	2,044	94.4	139	134.3	2,235	98.4	182	128.5	6,473	93.4	150	131.9
きゅうり	1,521	86.9	295	111.3	1,478	96.9	307	103.0	1,644	114.9	306	87.6	4,644	98.7	302	100.5
なす	526	98.6	414	99.4	455	93.3	464	98.5	466	116.2	447	88.2	1,448	101.8	440	95.6
トマト	1,347	63.6	555	161.3	1,563	93.2	473	144.0	1,487	102.4	425	122.7	4,397	83.8	482	141.8
ピーマン	694	104.1	327	90.3	579	91.5	337	104.5	626	107.5	363	100.1	1,899	100.9	342	98.0
さといも	295	113.4	275	97.5	371	119.1	286	93.2	569	110.4	312	91.6	1,236	113.6	295	93.2
ばれいしょ類	1,913	93.4	205	149.0	2,045	78.6	211	152.5	2,386	88.0	212	148.6	6,345	86.2	210	150.0
たまねぎ	2,676	97.6	180	240.9	2,828	90.9	184	247.1	2,974	96.6	182	241.2	8,478	94.9	182	243.1
生しいたけ	254	91.4	904	98.5	253	97.2	922	96.2	254	96.9	931	97.0	761	95.1	919	97.3
かぼちゃ	632	103.5	173	92.6	754	104.2	204	98.2	1,032	108.1	236	103.1	2,417	105.6	209	99.3
さやえんどう	24	50.7	1,272	137.7	36	52.1	1,190	154.9	50	72.7	1,144	133.7	110	59.4	1,187	141.3
かんしょ	1,106	117.1	268	108.9	1,239	122.5	270	114.8	1,161	103.3	280	111.4	3,507	113.9	273	111.5
かぶ	502	100.2	102	100.5	463	88.6	107	110.3	524	97.1	106	112.9	1,489	95.3	105	107.8
ごぼう	299	113.6	227	80.9	326	118.5	242	72.5	344	118.3	264	75.1	969	116.9	245	75.9
こまつ菜	338	84.1	208	154.1	310	91.5	246	149.5	342	103.9	275	139.8	990	92.5	243	148.8
こねぎ	116	91.2	784	105.7	122	96.2	778	115.3	121	98.1	812	119.7	359	95.1	792	113.3
糸みつば	36	83.5	386	124.4	34	84.4	433	136.7	35	95.4	672	149.9	105	87.4	496	140.0
しゅんぎく	105	88.9	447	115.9	96	82.3	513	125.4	97	87.2	575	116.9	299	86.1	510	119.2
いら	212	102.8	773	98.7	198	92.5	843	113.6	195	94.3	923	113.6	605	96.5	844	108.4
セルリー	224	81.7	179	90.1	211	83.3	181	118.1	218	87.9	184	120.6	652	84.2	181	107.3
カリフラワー	104	37.6	250	169.0	96	50.4	280	185.7	167	104.4	242	125.2	367	58.5	254	158.6
ブロッコリー	1,194	75.1	295	137.8	1,112	77.7	330	153.0	1,203	98.7	315	133.0	3,509	82.8	313	141.5
サラダな	19	82.2	383	130.9	19	96.0	408	130.2	18	92.5	516	147.7	56	89.8	435	137.1
パセリ	14	88.7	1,535	149.6	13	83.7	1,449	147.3	14	83.0	1,891	178.3	42	85.1	1,630	159.1
チンゲンサイ	106	82.6	214	119.3	100	90.0	230	125.3	93	86.5	255	128.2	299	86.2	232	124.3
ミニトマト	646	83.7	671	130.8	645	97.6	589	137.3	603	97.8	632	142.4	1,894	92.4	631	135.6
とうもろこし	10	383.6	365	87.7	7	351.7	357	100.8	3	275.7	451	111.6	20	353.1	374	95.4
いんげん	48	57.3	967	131.6	57	81.7	1,011	135.1	72	123.9	850	88.5	177	83.6	933	116.5
えだまめ	6	51.1	1,194	105.8	4	82.1	1,399	112.2	4	101.2	1,661	121.3	14	67.2	1,375	114.8
やまといも	38	82.4	517	100.5	40	79.5	518	107.5	49	112.3	530	108.8	127	90.6	522	105.7
根しょうが	56	68.8	599	100.1	52	84.7	619	101.2	54	64.9	613	100.5	162	71.7	610	100.6
マッシュルーム	38	101.9	1,056	98.4	45	116.2	1,014	92.6	43	112.2	1,154	95.0	126	110.2	1,074	95.3

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	7,680	99.8	276	100.0	8,651	93.8	281	101.5	9,524	104.2	296	104.8	25,856	99.2	285	102.3
(早生みかん)	7,563	100.0	276	100.3	7,624	94.5	281	102.5	3,981	98.1	279	101.0	19,168	97.4	279	101.3
(普通みかん)	86	84.2	224	89.3	1,023	88.9	284	95.5	5,542	109.1	308	107.2	6,651	105.0	303	105.1
かんきつ類	486	110.4	512	102.5	814	97.4	549	101.4	1,112	119.1	549	105.5	2,412	109.2	542	103.3
りんご類	1,932	73.0	387	135.5	1,822	73.0	407	141.2	1,549	78.2	432	137.4	5,302	74.4	407	138.2
(ふじ)	1,537	78.7	390	135.9	1,428	70.1	400	143.3	1,174	76.4	413	141.1	4,138	74.9	400	140.0
いちご類	450	133.7	1,889	91.4	631	107.7	1,887	96.7	792	83.8	2,270	111.3	1,873	100.3	2,049	101.6
(とちおとめ)	288	150.1	1,785	91.9	388	143.1	1,750	97.8	396	93.1	2,168	106.4	1,072	120.7	1,914	98.6
(あまおう)	37	62.9	2,614	106.6	50	36.9	2,485	112.7	98	48.3	2,518	119.4	185	46.5	2,528	115.3
メロン類	163	114.4	845	88.8	186	130.4	922	93.4	200	111.9	1,007	112.3	550	118.4	930	98.8
(アールスメロン)	133	118.0	906	86.0	141	122.0	1,018	93.5	148	103.7	1,137	117.6	422	113.7	1,025	99.4
すいか類	41	109.8	256	83.5	55	155.9	263	77.7	55	130.4	278	89.1	151	131.5	266	83.7
(すいか大玉)	38	112.1	248	84.2	51	145.0	256	76.6	53	136.0	274	92.6	142	131.5	261	84.7
ぶどう類	128	88.6	1,962	106.7	115	95.0	2,107	103.4	126	98.3	2,243	104.5	369	93.7	2,103	105.1
(シャインマスカット)	76	97.2	2,624	97.6	76	104.1	2,762	93.9	91	102.6	2,799	99.0	243	101.3	2,733	97.0
日本なし類	37	103.3	505	94.2	33	89.7	547	109.1	15	49.5	527	109.7	86	82.5	525	103.5
かき類	1,339	78.4	352	109.3	909	110.7	344	104.2	450	101.8	441	110.0	2,698	90.8	364	108.4

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,260	94.3	42	97.5	2,065	91.6	43	95.2	1,924	100.6	50	104.0	6,249	95.2	45	99.0
にんじん	2,001	92.9	94	71.7	2,274	91.1	86	79.0	2,205	92.5	94	87.9	6,480	92.1	91	79.3
キャベツ類	1,824	84.4	60	112.3	1,498	75.7	58	120.9	1,357	95.8	53	95.3	4,679	84.2	57	110.1
ほうれんそう	38	73.0	273	120.6	37	85.2	358	140.8	39	79.0	325	101.1	113	78.7	318	119.2
ねぎ	188	129.3	245	80.4	282	120.7	259	77.6	335	108.3	252	79.4	805	116.9	252	78.9
レタス類	42	88.3	194	139.5	67	117.1	192	141.0	115	108.3	212	159.6	224	106.1	202	149.9
きゅうり	172	99.3	292	107.1	242	140.5	307	98.8	208	113.4	329	92.1	622	117.6	310	98.7
トマト	179	81.0	486	176.4	118	96.4	430	165.3	92	107.4	382	132.3	388	90.6	445	162.4
さといも	14	102.7	227	105.0	31	240.2	277	96.2	23	87.6	263	90.0	69	128.6	262	96.4
かんしょ	614	113.9	251	109.9	607	108.8	242	113.8	558	97.4	248	113.3	1,780	106.5	247	112.4
かぶ	384	97.6	103	102.0	373	88.7	108	110.3	436	96.1	105	113.3	1,193	94.1	105	108.6
こまつ菜	12	51.0	221	149.5	14	50.5	261	149.3	15	65.6	249	133.2	41	55.2	245	144.2
しゅんぎく	33	88.8	455	111.9	32	77.9	536	131.5	35	84.9	597	117.5	100	83.8	530	120.0
サラダな	10	101.0	355	166.9	9	137.1	404	148.9	9	123.8	494	160.2	28	118.0	415	160.9
パセリ	10	97.1	1,441	175.4	9	90.6	1,309	188.0	9	89.2	1,835	230.7	28	92.4	1,529	197.7
ミニトマト	110	152.4	529	95.3	79	143.7	535	109.4	57	118.1	614	125.9	246	140.2	551	106.7
やまといも	23	79.0	523	99.9	25	82.6	534	110.9	32	106.9	534	108.9	79	89.6	531	106.5

品目 (果実)	11月下旬				12月上旬				12月中旬				11月下旬～12月中旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	2	294.3	525	112.1	2	160.1	634	80.7	2	90.2	943	187.4	6	138.7	718	124.9
(アールスメロン)	2	278.0	517	110.4	2	148.1	638	81.2	2	86.5	947	188.3	6	130.9	720	125.3

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。－は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料: 東京青果物情報センター速報

2 1月の見通し

野 菜

関東、東海地方や西南暖地からの入荷が主となる。

露地野菜は12月後半以降の冷え込みで生育が落ち着いてきている品目が多いものの、引き続き順調な入荷が見込まれる。ほうれんそうは寒波で生育が緩慢になるが、こまつ菜などからの転換による作付け増から十分量の入荷が予想される。前年は低温や干ばつなどの影響があったが、今年も降雪や低温の影響が懸念される。

野菜全体では、入荷量は前年並で、価格は前年を下回る見込み。

果 実

「みかん類」「りんご類」「いちご類」「かんきつ類」を中心に出回る。

「みかん類」は静岡産中心の入荷となる。大玉傾向だが、裏年のため前年ほど入荷量は多くない。「りんご類」は春先の凍霜害により、数量少なく、引き合いは強い見込み。「いちご類」は関東は1月中下旬に2番果のピーク、九州は中下旬に端境の見込み。

果実全体では、入荷量は前年並で、価格は前年をやや上回る見込み。

品 目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備 考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	⇒	⇒	↘↘	↓↓↓	主産地は神奈川、千葉県。生育が前進傾向で進んでいたが、12月中旬以降の冷え込みで生育が落ち着いてきている。
にんじん	⇒	↗	↘↘	↘↘	主産地は千葉、埼玉県。千葉県は気温の低下とともに根部の肥大も抑えられるが、生育順調で平年を上回る出荷量となる見込みである。
キャベツ類	⇒	⇒	↓↓↓	↓↓↓	主産地は愛知、千葉県。愛知県は大玉傾向の出荷が続き、本県は寒波により出方が落ち着く可能性も。冷え込みいかんで一時的な端境も予想される。
ねぎ	↗	⇒	↓↓↓	↘↘	主産地は千葉、埼玉県。関東産地は生育順調で、太物傾向の出荷が続くと見込まれる。秋冬作が不作傾向であった前年を上回る見込みである。
きゅうり	⇒	⇒	⇒	↓↓↓	主産地は宮崎、千葉県。寒さや成り疲れなどから、一時的に出方が落ち着くが、各産地で生育順調なことから大きな谷とならない予想である。
トマト	↘	⇒	↗↗	↘	主産地は熊本、栃木県。熊本県は出荷量が回復も極端な増量にはならず、栃木県、愛知県などは生育が概ね順調である。
なばな	↗↗	⇒	↗	↘	主産地は千葉、香川県。前年は年内の前進出荷と冷え込みから年明けに端境が発生したが、今年は大きな問題なく前年並の出荷が見込まれる。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

3 今月の青果物

レタス類

主要産地のレタス類の入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2020年度1月入荷量	2020年度1月シェア率
千葉	338 t	5.6 %
静岡	2,163 t	36.1 %
香川	590 t	9.8 %
茨城	284 t	4.7 %

今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場における1月の「レタス類」は、本県や静岡県、香川県、兵庫県などが主産地となっています。厳寒期である1月は、静岡県や香川県、兵庫県の冬季でも比較的温暖な地域からの出荷がメインとなり、3月以降は茨城県のシェアが大きくなっていきます。

「レタス類」には、結球(玉)レタスのほか、サニーレタスやグリーンリーフレタスなどの非結球レタス、ロメインレタスなどが分類されます。入荷の多くを結球レタスが占めますが、近年はサニーレタスなどの入荷量も増えていきます。

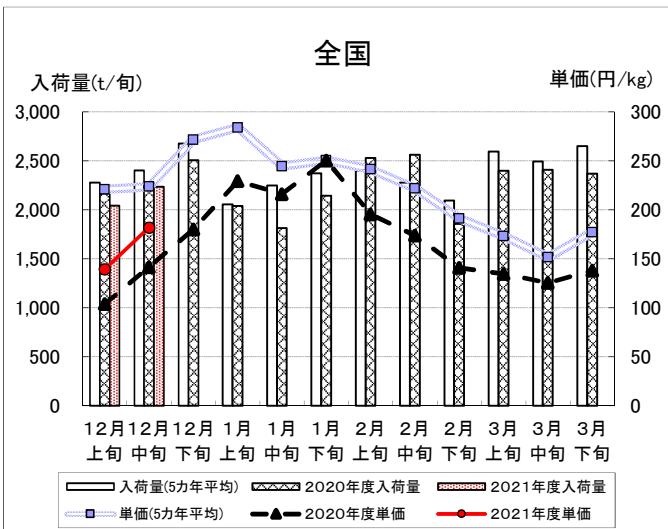
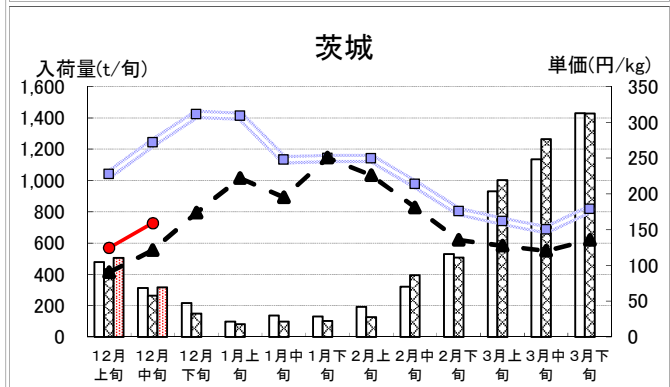
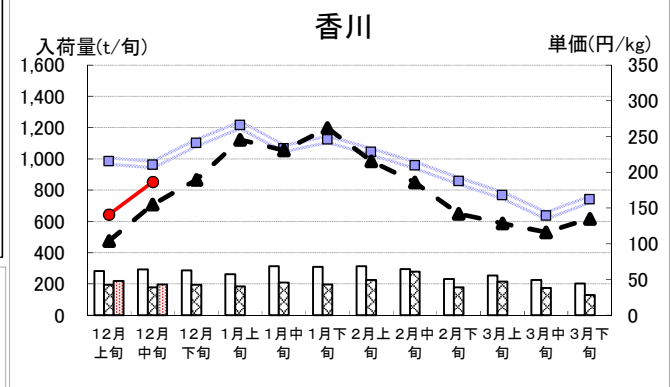
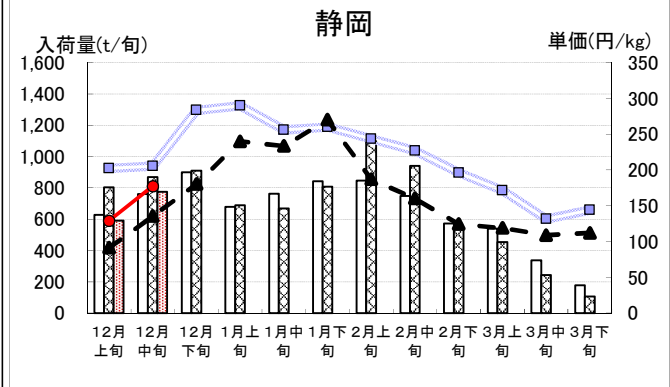
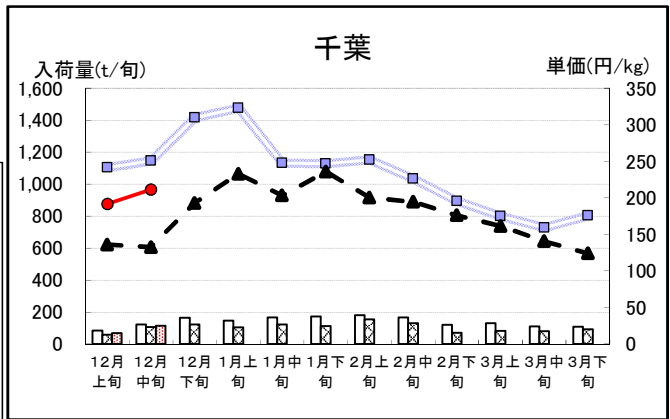
前年度は、12月中下旬以降の冷え込みや干ばつ傾向の影響で、生育が停滞したり、小玉の比率が増え、入荷量が少なくなりました。

1月の主産地の見通しは以下のとおりです。

静岡県をはじめ、各産地で生育順調で、出荷が前進傾向で進んでいたところ、12月中旬以降の強い寒波の影響で生育が一気に落ちてきています。また、香川県では品目転換等で作付面積を減らしています。

全体の入荷量は、少なかった前年並で、平年をかなり下回る見込みです。

1月入荷予測	6,150t(前年比102.6%、平年比92.1%)		
1月価格予測	240円(前年比103.0%、平年比92.6%)		
1月市況予測	(上旬) 強保合 ↗	(中旬) 弱保合 ↘	(下旬) 保合 ⇒



II 花き(切花)情報

12月(中旬)までの経過

10月下旬以降の品薄高を維持したまま年末の需要期となり、堅調な相場となった。入荷量は平年をかなり上回り、相場は平年を大幅に上回った。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	11月下旬は平年をやや下回ったが、12月上旬は平年を大幅に上回り、12月中旬は平年をかなり上回った。
相場	11月下旬から12月上旬は平年を大幅に上回り、12月中旬は平年をかなり上回った。
動向	年末需要により引き合い強く堅調な相場となった。年明け後は大きな動きはなく業務需要中心となる。

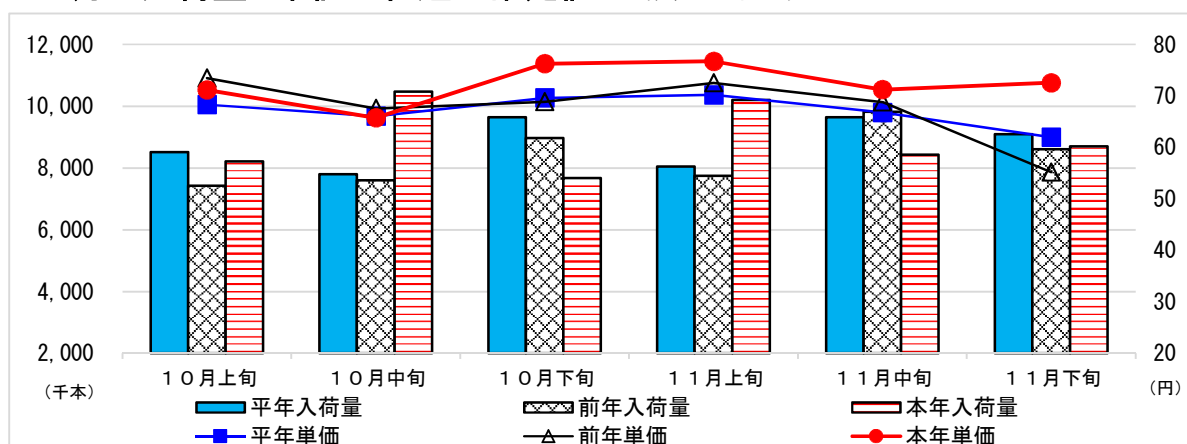
品目別経過

品目	経過
バラ	株東日本板橋花き 業務需要の回復と天候不順による品薄感で引き合いが強めの販売状況。
ストック	株フラワーオークションジャパン 千葉中心に山形、秋田、福島より入荷。11月後半の冷えと前進で数量減。特にST品種は単価高。
スイセン	株大田花き 日本水仙は夏から秋の気候の影響により例年より2週間以上前進。生産者の高齢化、獣害の影響で出荷数量は減少。数量少ないことから、高値での取引となった。

1月の見通し

品目	見通し
ストック	株大田花き 千葉主体の産地構成となり、安定入荷が見込まれる。需要面では落ち着いた動きとなる見通し。
カラー	株大田花き 湿地性は下旬に向け増加、安定的な供給となり、丈の長い商品の出荷割合も増える。畑地性は国産が多少増えるが、引き続き輸入の入荷量が少なく、引き合いは強くなる見通し。

11月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

Ⅲ 千葉県内市場における園芸品の市況概況

青果物

単位：t、円/kg

品目	R3. 11月				累計 (R3. 1～R3. 11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
野菜	19,478	0.91	167	1.09	204,668	0.95	188	0.98
だいこん	3,019	0.95	50	0.96	24,477	0.89	75	0.88
にんじん	1,042	1.02	100	0.74	11,222	1.04	123	0.84
はくさい	1,874	0.79	47	1.20	13,568	0.94	61	0.77
キャベツ	2,925	0.92	62	1.08	35,466	0.95	71	0.78
ねぎ	904	1.20	211	0.76	7,758	0.98	329	1.10
トマト	574	0.90	493	1.08	8,881	0.99	337	0.95
きゅうり	618	0.98	280	0.95	8,908	1.05	283	0.83
ばれいしょ	927	1.02	192	1.44	10,387	0.90	215	1.39
たまねぎ	1,699	0.71	168	2.54	21,093	0.86	99	1.34
レタス	695	0.86	142	1.14	10,028	0.93	158	0.97
果実	5,069	0.98	339	1.12	49,365	1.03	388	0.98
みかん	2,162	1.04	241	1.02	7,532	1.13	241	0.96
かき類	765	0.92	344	1.09	2,136	0.95	326	1.07
グレープフルーツ	49	0.71	188	0.88	762	0.58	201	1.06
なし類	45	0.49	482	1.27	3,138	1.15	441	0.91
ぶどう類	87	0.74	1,536	1.10	1,463	0.89	1,225	1.09
いちご類	105	2.17	1,855	0.95	2,896	1.10	1,178	0.97
すいか類	1	1.21	385	1.29	4,673	1.03	244	1.01
メロン類	42	1.56	591	0.83	2,641	0.99	472	1.08
バナナ	547	1.22	132	0.93	5,324	1.19	147	0.91
りんご	746	0.79	368	1.36	5,861	1.06	300	0.85
その他	189	0.91	193	1.09	2,107	0.98	226	1.14
青果物合計	24,736	0.92	203	1.12	256,140	0.96	227	1.00

花き

単位：千本（千鉢）、円/本（鉢）

品目	R3. 11月				累計 (R3. 1～R3. 11月)			
	入荷量	前年比	単価	前年比	数量	前年比	単価	前年比
切り花	833	0.88	69	1.06	11,984	0.91	63	1.03
きく	237	0.91	64	0.91	3,521	0.95	60	0.89
バラ	35	1.07	110	1.10	380	0.96	91	1.08
カーネーション	161	0.77	48	1.23	2,316	0.99	48	1.05
枝物	40	0.85	86	1.22	275	1.02	97	1.04
鉢物	175	1.06	134	0.98	1,012	0.99	146	1.08
その他	2	0.66	109	1.34	14	1.07	82	1.19
花き合計	1,050	0.91	81	1.08	13,285	0.92	70	1.05

※県内公設卸売市場実績。品目は主なもの。数値の「0」は入荷はあるが単位に満たないことを示

※「-」は、数値の発表がないことを示す。

Ⅳ や っ ら っ ば 閑 話

「DX」

新年あけましておめでとうございます。

一昨年からの新型コロナウイルスの猛威は終息せず、周りの環境が大きく変化し、マスク着用や至る所での手の消毒等が普通になっています。

私事ですが、昨年を振り返ると、鳥インフルエンザの防疫対応でバスの中から初日の出を見たことから慌ただしく始まり、3月にお引越し、4月から異動で新しい職場、年明けの現在、現職場へ戻ってきており、右往左往と変化の連続でした。

さて、コロナ禍での新しい生活様式により、中々進展していなかった働き方改革が一気に動いた気がします。その中の一つテレワークは令和元年 20.2%の企業が導入していましたが、令和2年は47.5%と倍以上に上昇したようです。(総務省 通信利用動向調査より) 環境が変化している中、デジタル・トランスフォーメーション (DX) という言葉をよく見聞きするようになりました。改めて DX とは何なのか調べてみたところ…

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」(経済産業省のDXを推進するためのガイドラインより) 単にデジタル化して効率をあげるのではなく、デジタル化によって産業構造の変革をすること、と思っていたより壮大でした。

農業の現場でも IT 技術の活用によって、ほ場・作業管理やドローン等の遠隔作業、AI による生産管理、生育予測等、データを集めて DX に向けた取組は進んでいて、生鮮の流通関係でも 11 月に N 社と Z 社が農産物の DX に取り組むと発表がありました。市場流通は、関係する小中規模の企業が多く、相互の情報共有システムもなく、新しい仕組みを取り入れるのは難しかったのですが、今回の発表では、サイバー空間上に仮想市場を構築、取引データ、気象情報、消費動向の変化等から未来予測を行い、農産物が市場に運び込まれる前に取引を行うことで、関係企業の人員や配車の効率化、在庫ロス削減等の問題が解決されることが望まれています。

情報を制する者は戦いを制す、ではないですが、正確な情報による効率化が各所の取引でとても大事であることが伺えます。

かくいう私は、ホームページの更新に四苦八苦しなながら、情報発信がしやすくなった分、情報更新頻度を上げなければと、自動で情報更新してくれないかな、なんて思っているのです。

本年もよろしくお願い申し上げます。

(出不精な旅行好き)

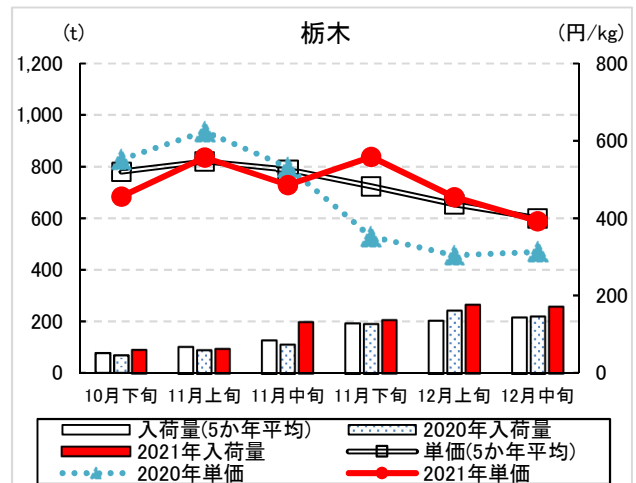
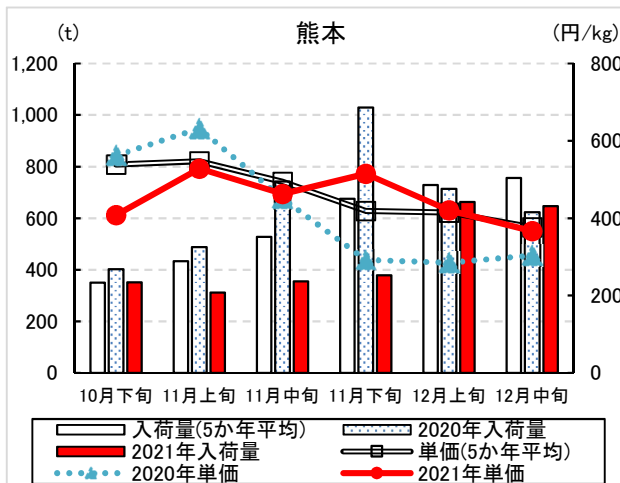
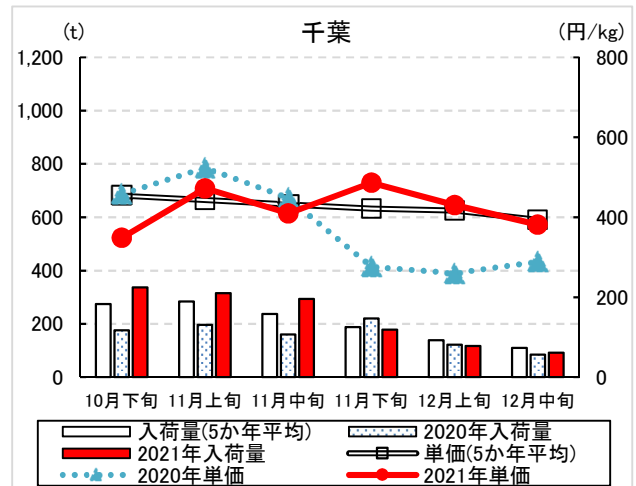
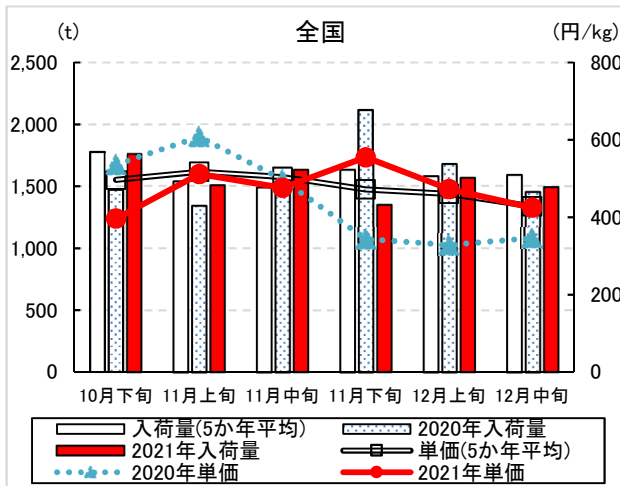
V 首都圏揭示板



都中央卸売市場における10月下旬～12月中旬のトマトの入荷状況

10月下旬～11月中旬にかけては、北海道や東北地方の出荷が終盤に向かい、千葉県を主とする関東地方の抑制トマト等が例年になく順調に出回りました。

また、後続産地である栃木県や愛知県なども比較的順調な出荷が続き、特に栃木県は作柄が良い傾向が見られています。一方で、熊本県は昼夜の温度差などによりこれまで裂果やガサ玉の発生が多く、地域によっては黄化葉巻病の発生も散見されていました。そのため、11月下旬の入荷量は前年及び平年を下回りましたが、12月上中旬は熊本県の入荷量の回復とともに市場全体の入荷量も増えました。しかし今後は、低温による着色の鈍りや黄化葉巻病等の病害の発生から再び入荷が減るとの見方もあります。



主産地の入荷量及び価格（10月下旬～12月中旬）